

子ども劇場ニュースレター

Society of Children's Theatre Works & Community Development

発行責任者 中島久美子

2020 年度定期総会開催しました！



柴田 樹さんの
ラブドラム演奏



新型コロナウイルス感染防止を踏まえ、本年度の定期総会は参加者を制限して、ソーシャルディスタンスを保って開催させていただきました。活発な意見を交換し無事終了いたしました。
with コロナの中で、私たちが出来ることはやっぱり「子どもたちの声」を聞き、形にしていけることです。そのためには大人たちが心の中でガッチリスクラムを組み、繋がり続けることが大事だと、参加者みんなと確認しました。

生の舞台、音楽にも触れたいという想いを形に…

熊本市合志市在住の若手ミュージシャン（パーカッション・ドラム奏者）で、まだ珍しく4年前から存在する「ラブドラム」というロシア発祥の打楽器を操る『柴田 樹』さんをお招きして、30分のミニコンサートを楽しみました。

ラブドラムの音色はちゃんと音階があり、ヒーリングにぴったり。眠りに誘われる心地良い響きで、リラックスしました。

3名ほどラブドラム演奏の体験させていただきました。緊張していたせいか、難しく感じましたが、子どもたちもきっと興味を持つ楽器だなあと。そして、熊本市の子どもたちに知ってほしい！と強く思いました。

総会を終えて…

コープ支えあい助成金活動の講師として来熊してくださった、アフタフバーバン関西の北崎圭太さんから、休校中に神戸市の学童で1時間子ども10人とあそんだという「晴10 セイテン活動」をダイジェストで報告いただきました。

現場の様子が良く伝わり、葛藤、苦労も垣間見えました。今こそ、子どもの権利条約31条の具現化が必要だと改めて感じました。

2020 年度定期総会の様子



厄病退散を願い
作られたアマビエ
のいんごひょうた
ん。無事を見守っ
てくれました！⇒



目次

1. 定期総会のご報告
2. 圭太さんとあそぼう！語ろう！報告
3. コープ助成事業メディア学習会報告
4. これからの活動

<発行> 特定非営利活動法人熊本市子ども劇場連絡会

〒860-0821 熊本市中央区本山1丁目6-9 白木ビル3F

TEL 096-356-0741 FAX 096-356-0780

E-mail info@kumageki.jp ホームページ <http://www.kumageki.jp>

フェイスブックも、ご覧ください!! <https://www.facebook.com/kumageki#>

『圭太くん みんなであそぼう！ 語ろう！』

今まで体験したことのない、新型コロナウイルス感染予防のための自粛生活が3か月ほど続き、その間、子ども劇場の鑑賞会、自主活動なども中止・延期となりどうしようもない憤りを感じる毎日でした。

緊急事態宣言が解除されたこともあり、子ども劇場として何かしらのスタートが切れないか…迷いながらも活動の一步が踏み出せないか…考え抜いた結果、昨年度もお世話になったアフタフ・バーバン関西代表の北崎圭太さんの力を借りて、地域の皆さんを中心に集まる場を設けましたので、ご報告いたします。

熊本市子ども劇場高学年部からの報告です。

2020/6/20 (子ども劇場事務所)

参加者 10名(高校生2名、大学生青年2名、社会人青年3名、おばちゃん3名)

四字熟語をグループごとに身体で表現したり、与えられたテーマをグループで相談もせず身体で表現したり(前の人の表現を受け入れて付け加えていく)、それはそれはおもしろい、なかなか高度な遊びでした。写真を載せているので、いろいろ想像してみてください。

今回、1番すごいと思ったのは「魑魅魍魎(ちみもうりょう)」という四字熟語を身体で表現し、それを当てることができたことです。

頭も身体もいっぱい使って楽しく遊べました。青年高校生だからこそその楽しみかたもあり(四字熟語など使ったり、難易度上がった)学びも多くありました。(高校1年)

とにかくいっぱい笑って楽しんだあつという間の1時間でした。



『圭太君と遊ぼう・西部エリア』 6/21(日) 県立体育館会議室・和室にて

38歳 2児の父なんだけど…西部エリアの青年だった圭太君は、何年経っても圭太君。小さい時に遊んでもらってた子が大学生になったり、家庭教師をしてもらってたという青年もいて、時間は経ってみんな成長したけど遊び心はあの時のまま、そんなアットホームな会でした。

小学生の部と中学生以上の部の2部構成。小学生の部は大人も参加して親子対決などもやりました。ギャングエイジ突入の反抗的な小3男子、あまり乗る気ではなかったのですが、圭太マジックにかかりどんどん遊びに乗ってくる様子が面白おかしかったです。さすが～これが遊びの力か～と感心。親子対決の宝探しでは、見事に子どもの勝利！大人が想像もしてなかった所に隠していて、子どもの遊び心と想像力の深さが見えた感じです。和室を海に見立てて変身では、来たときからあまり遊びに入れなかった女の子が押し入れの奥に入っていて、大丈夫かな～と思ってたけど実はたこぼらに入ったタコになってたり、押し入れの奥からでてきた男の子が岩間からでてきた稚魚だったり、やっぱり子どもの想像力は面白い！蛾に変身では壁に張り付いたり。特別な物は必要なし、宝は番号を書いたガムテープで、押し入れがあれば十分、遊びの可能性は無限大。最初は乗る気ではなかった子ども達も、終わる時にはまだ遊びたい、と言ってたし、ギャングエイジ男子も家では楽しかった～「俺、いろんなこと提案したよね」と満足げ話す圭太マジックにかかった姿を微笑ましく思いました。

中学生以上の部でもかなり盛り上がった様子で、圭太君と遊んでた世代だけではなく、人見知りしていた中学1年生も意見を出したり笑ったりして楽しんでいてよかったそうです。

参加するのを渋ってた中学生の子も、「圭太君いい人だね。」

学校の先生だと怒りそうなことも全部ほめてくれた、

だからいつもの自分を出せたよ。来てよかった。」と

言ってくれました。

それぞれ短い時間で遊び足りなかったけど、

今日はwithコロナでもできることがあり、

本当に良かったです。



CO・OP共済 地域ささえあい助成活動 子どもとメディア学習会

『子どもにとっての、スマホのホントの問題と大人ができること』

講師：北崎圭太さん（NPO 法人アフタフ・バーバン関西代表）

<3日間 4カ所開催>

6月18日：城北エリア 6月19日：城西エリア 6月20日 AM やつしろ子ども劇場・PM 帯山エリア

やつしろ子ども劇場での様子

コロナ自粛と共に浮上した子どもとメディアの関係。

久々に晴れた日の午前中、

アフタフ・バーバン関西の北崎圭太さんと遊びながら考えました。

小1～高2まで(マスクや消毒、換気を気遣うことを念頭に)トランプで競いあったり、ノコギリになったり、池を表現したり。

スマホ等持っていることは当たり前になっただけで、なぜ駄目と言われるか、チームになって相談し出しました。

子どもは年齢に関係なく、なぜSNSがいけないのかをよく把握しているのに驚きましたね～。いけないことのちょっと奥を考えてみてね！とこれからずっと付き合っていくヒントをいただきました。

子どもの笑い声(もちろん大人も！)、仲間と一緒に考える楽しそうな生き生きした顔をたくさん見ることが出来ました。



城北エリアでの様子

◎大人対象「語ろう！～メディア座談会」

昨年度、圭太さんのワークショップで「リアルを大事に！」というキーワードをもらい、今回はこのコロナ禍を経て、簡単にオンライン OK ではなく、どっちが正解、という訳でもなく、じゃあ自分はどう考える？、というワークショップでした。

それぞれに大事に思うことが一緒だったり、でも、それを今やるべき？というフィルターを掛けると微妙に違いがあるな、と感じました。

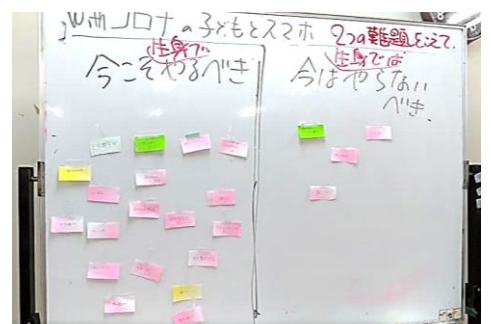
ワーク後、圭太くんを交え、参加者からの質問を受けたり、自分の思うことをそれぞれに話し、学ぶだけでなく、自分の頭で考える、そして仲間と分かち合える、充実した会となりました。

今回の活動を通して、(城北エリアでは圭太くんとあそぼうも取り組みました。)

「正解は無い。だからこそ、話し合い、納得しあえる仲間と一緒に、やるべき！と思ったことはやろう！」

私たちの活動を応援する言葉をもらいました。

私たち自身も、活動自粛から 1 歩踏み出す、とても大切なきっかけとなり、次の活動への展開が見えてきています！



～最もやさしい観客のための 特別な舞台芸術体験～

文化庁委託事業

日本児童・青少年演劇劇団協同組合（児演協）主催

日本×ポーランド共同制作 ベイビーシアター

く う き
KUUKI

8月1日より
チケット発売開始!!



2020年9月6日(日)

①11:00 開演②14:30 開演 (上演時間各 45 分)

熊本市男女共同参画センターはあもにい 多目的ホール

料金 大人・ベビーペア 2000 円

大人 1500 円 / ベビー (0才～1才6か月) 500 円

※子ども劇場会員の大人・ベビーペア 1500 円

お問い合わせは 熊本県子ども劇場連絡会 096-356-0741

ベイビーシアターって？

ベイビーシアター（乳幼児のための舞台芸術）は 1990 年代よりヨーロッパで起こった舞台芸術の一分野です。赤ちゃんの観る力、聞く力、感じる力に働きかけて、その力を共に観る大人たちと分かち合う演目でもあります。ゆったりとした空間の中で親子でのんびり過ごし、パフォーマンスを鑑賞し、終演後、余韻を楽しみながらまたのんびり過ごす…赤ちゃんが主役であり、観客でもある、ゆったり楽しめるパフォーマンスです。

2020 年度 CO-OP 共済地域ささえあい助成事業

『もっとみんなで学ぼう みんなであそぼう！参加費：1 回につき 500 円
～ “あそび心” が地域をつなぎ仲間をつくる～』

9 月 13 日 (日) 10:00～12:00 @熊本県立劇場 第3練習室

講師：アフタフ・バーバン 北島尚志氏 (表現あそびワークショップ)

※昨年度の内容の発展形の内容を予定しています。(11 月にあそびの実践、12 月 13 日まとめ会)

引き続き 「子どもの権利条約学習会」 (こどもあーと共催)

9 月 13 日 (日) @熊本県立劇場 大会議室

先着 80 名

＜講演会＞東海大学名誉教授 山下雅彦氏 13:30～14:45 (13 時より受付)

＜権利条約ワークショップ＞アフタフ・バーバン 北島尚志氏 15:00～16:30

参加費：講演会：1000 円 ワークショップ：1000 円

△編集後記△
2020年に入ってから、新型コロナウイルス感染症のニュースが流れ始め、2月中旬に本格的に社会情勢が急激に変化しました。それに伴い、子どもたちは学校・幼稚園を休業と地域で集まることまでシャットアウトされました。生命に関わることの判断材料に子どもの声はなかなか反映されません。しかしながら、これらの社会をつくる子どもたち、本音や希望を聞き続けなければ、本当に良い社会はつくられないのではないのでしょうか。
私たち子ども劇場の役割を考えるひとつとして、「休校期間中の子どもたちの様子を聞かせてください」(※別紙にて結果報告)緊急アンケート調査を実施しました。その中で、友だちとあそびたい、という声が多く、大人も集まって話したい、と実際に会うことを望んでいることが分かりました。各家庭の事情は様々ですが、会員の中で十分に話し合い、納得して、今年度も工夫しながらつながり、活動をしていきたいと思いました。また、今こそ、子どもの権利条約の具現化を強く願います。(東坂)

賛助会員の皆さま

- ・熊本機能病院
- ・近代経営
- ・カーリーノホールディングス
- ・熊本なべしま
- ・長田進文堂

ご支援ありがとうございます!!